

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 10文書広報費

◎市史編さんの経費

市史編纂事業

総務課

【総合計画上の位置づけ】

歴史を継承し、文化を創造するまち

歴史環境:豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市史の編さん及び公開をするため。

効果 歴史的資料の活用

【事業の内容】

(1) 市史編纂事業

- ・市史の公開業務、歴史的資料の整理・保存及び散逸防止を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,262	1,262	1,086		176

主な支出内訳

・市史編纂事業

事務補助嘱託員報酬 1人

1,008

古文書解説相談謝礼

0

神奈川県歴史資料取扱機関連絡協議会負担金

10

平成21年度事務事業評価シート

[illegible]

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1) 歴史公文書等の収集及び保存に係る事業の完全実施に向けての組織的体制の整備 (2) 歴史公文書等の適切な保存のための収集選別基準の作成
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1) 歴史公文書等の収集及び保存体制について課題を洗い出し整理するため、中央図書館(近代史資料室)と連携し、平成20年度からの廃棄行政文書の収集選別作業の試行を開始した。 (2) 廃棄行政文書の収集選別作業の試行の中で、収集選別基準の作成の検討を進めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1) 歴史公文書等の収集及び保存に係る事業の完全実施に向けての組織的体制整備について、関係課と協議・検討が必要である。 (2) 歴史公文書等の適切な保存のための収集選別基準を、現在実施している収集選別作業の試行を踏まえ作成する必要がある。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 当該事務事業について専門性を有する中央図書館(近代史資料室)に人材と経費を集中し、当該事務事業を移管することにより、歴史公文書等の早急な管理体制を整える。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止		C	改善の必要性 有
	国民及び市民の財産である歴史公文書等の収集及び保存に係る事業について、収集選別作業の試行結果からその課題を整理し、効果的な組織体制を固める必要がある。			
担当課長氏名:		総務課長 内藤 昭二		

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止		C	改善の必要性 有
	当該事務事業は、その移管も含め、適正かつ効率的に推進するための体制整備について検討していきたい。			
担当部名	総務部	部長名	兵藤 芳朗	